

## 「隅田川 森羅万象 墨に夢（通称：すみゆめ）」 2019プロジェクト企画募集 FAQ

### <申請書類について>

- Q. 構成員名簿はどこまで書きますか？当日手伝ってくれる人も載せますか？  
A. 企画制作に関わるコアメンバーを書いてください。当日のみの人は含めなくて大丈夫です。

### <応募条件・選考方法について>

- Q. 台東区と墨田区で企画を実施したいのですが、台東区との連携は予定していますか？  
A. プロジェクト企画は、隅田川流域で実施する活動を対象としているので、墨田区以外でも応募できます。実行委員会の主催企画で、台東区と連携企画を行うかどうかは具体的には決まっています。
- Q. 応募する企画は、過去の企画と似ていないほうが採択されやすいのでしょうか？似ていてもさらに面白いものを出せば採択されますか？  
A. 過去や他団体の企画と似た企画でも、自分たちの強みを出すなどして、独自性をアピールしてください。「北斎」といっても、例えば作品からインスピレーションを受けたり、生き様に注目したり、食に関する企画を考えたりするなど、切り口に独自性を持たせることも可能です。
- Q. 同じ団体が継続して応募することは可能ですか？  
A. 可能です。過去には、同じ団体が企画内容に新しい要素を加えて応募し、採択されたケースもあります。
- Q. 北斎について学ぶことができる勉強会や教室を開くことは可能ですか？  
A. 勉強会や教室でも大丈夫です。過去には、料理の先生を招いて江戸時代の食べ物を再現した講座や、すみだにまつわる民話を語る会の企画等も採択されています。
- Q. ジャンルや期間のバランスを考慮して、選考結果を決めることはありますか？  
A. 重視されるのは企画内容です。選考の段階でジャンルや期間のバランスを取ることはありません。採択後、会場の状況等により、日程を変更したことはあります。

### <会場について>

- Q. 使用できる会場は公共施設のみですか？  
A. 公共施設も民間施設も使用できます。会場リストを参考にしてください。
- Q. 主催者が会場を借りて、応募すればよいですか？  
A. 特定の会場を希望する場合は、できるだけ事前に問い合わせの上、仮予約してからご応募ください。どの会場・どの日程でも可能な場合は、事務局で会場探しのサポートをさせていただくこともできます。会場の仕様に希望や条件があれば、応募用紙にご記入ください。

### <経費について>

- Q. 公演の練習期間の会場代は対象経費になりますか？  
A. 対象経費となります。応募用紙には、練習の日付までは必要ありませんが、施設使用料×何回練習するかを根拠として記入してください。
- Q. プロジェクト企画は、メイン期間（9/1～12/25）に実施しますが、その準備として、区民からアイデアを募集する予定です。募集は9月以前にはじめてもよいですか？9月以前に募集が可能な場合、その経費は対象経費になりますか？  
A. 準備のための募集は、その企画が採択された時点で開始していただいて問題ありません。準備に係る経費は、9月以前でも対象経費になります。

Q. 申請額に対して、実際の補助金が減額される可能性もあると思いますが、その金額では実現が難しくなった場合はどうすればよいでしょうか？

A. 選考で金額が決まった後、実施可能か確認させていただきますので、辞退するか、金額に合わせて規模感を調整するかをご判断ください。ただし、規模感を変更する場合、申請内容から大幅に変更がないようにしてください。

Q. 公演のチケットを有料で販売したいのですが、「多くの方が参加しやすい料金設定」というと、いくらが妥当ですか？

A. 区の主催事業なので、地元の方が気軽に参加できるような料金設定をお願いしています。適切な額を具体的には設定していませんが、営利を目的とするものは、対象となりません。

Q. 赤字にならない最低金額でも、チケット代が4,000~5,000円になりそうですが、高すぎますか？

A. 赤字になるのに無理に安くする必要はありません。収支のバランスが取れる金額を設定してください。

きちんと広報してチケット収入を得て、プロジェクトの活動資金とするという考え方もあります。

Q. 「すみゆめ」の他に協賛金を募る予定ですが、イベントの性格上いくら集まるかまだ読めません。協賛金の金額の書き方によって、選考に影響はありますか？

A. 協賛金額の大小が選考に影響することはありません。ただし、見込めない額を入れてしまうと、結果的に赤字となり、主催者の負担が大きくなってしまいます。現実的な額を書くのが望ましいです。

#### <事務局のサポート>

Q. 申請前に相談したいのですが、事務局で相談は受け付けていますか？

A. 事務局にお越しいただき、ご相談いただくことは可能です。職員が不在の場合もあるので事前にご連絡の上、お越しくください。

Q. 「音響・照明や展示施工などの技術的な相談に応じる」というのは、施設の付帯設備を貸出してくれるということですか？会場内での音響・照明や展示施工に協力いただけるのでしょうか？

A. 会場内での音響・照明や展示施工に協力します。その場合、内容と期間を考慮し安価にできる方法をご提案します。付帯設備を使用する際の使用料（減免無し）は、補助金の中から支出してください。

Q. 音響・照明や展示施工などの技術支援を受けられるのは、公共施設を使用する場合のみですか？民間施設を使用する場合も受けられますか？

A. 会場がどこであっても支援します。ただし、支援には限界がありますので、施工等に掛かる費用は、交付した補助金の中から、支出していただく場合もあります。

Q. 施設利用料の減免額はどの程度ですか？

A. 減免額は施設ごとに決まっています。基本は、半額減免または3割減免です。区立施設は減免の対象で

すが、都立施設は減免されません。応募時にいくら減免されるかわからない場合は、正規の会場使用料を入れて応募してください。対象施設が減免可能であれば、その分を申請額から差し引いて、補助金を交付いたします。

#### <ネットワーク企画について>

Q. プロジェクト企画とネットワーク企画との違いについて、教えてください。

A. プロジェクト企画は、メイン期間に実施される企画が対象で、採択されると補助金の交付、会場使用料の減免、技術支援、広報支援等を受けることができます。ネットワーク企画は、通年6月~翌年2月末頃までに実施される企画を随時募集しています。支援内容は、広報連携となります。

Q. ネットワーク企画の選考ポイントについて、教えてください。

A. プロジェクト企画と同じで、「北斎」「隅田川」というテーマとの親和性が重要です。また、ネットワーク形成や地域への波及力も重要なポイントとなります。

Q. ネットワーク企画は、いつまでに応募すればよいですか？

A. 実施日の2ヶ月前までにご応募ください。応募が早ければ早いほど、情報発信しやすくなるので、広報面でもメリットが大きいと思います。

Q. ネットワーク企画に採択された場合、報告会への出席は必要ですか？

A. 報告会への出席は、必須ではありませんが、可能な限り出席してください。但し、報告書の提出は必須となります。

#### <寄合について>

Q. 寄合の予定について教えてください。

A. 月1回のペースで実施します。採択団体を中心に参加者から希望日を確認させていただき、できるだけ多くの方が参加しやすいようにしたいと思います。

2018年度の前半は、寄合毎に墨田区内で活動する団体等の拠点をお借りして、活動団体の活動内容や地域で活動していく上でのアドバイス等について、お話を伺いました。後半は、テーマを設定して、参加者が車座になり、意見交換等を行いました。

#### <その他>

Q. 過去の応募と採択状況を教えてください

A. 2017年度、2018年度は共に応募件数40件、採択件数17件でした。件数で決めるというよりも、選考基準をクリアしたものがどうかを選考会での判断基準となります。